

プレシジョン・システム・サイエンス

4

上昇するBV

「リーマン・ショック」後
の低迷がなお続く東京株式
市場で今、バイオベンチャ
ー（BV）株の逆行高が市
場関係者から注目されてい
る。いちよし経済研究所が
主要BV11社の株価を基に
算出した「バイオベンチャ
ー株価指数」は今年5月時
点で、2008年9月のリ

一マン・ショック直前に比べて3倍近くに上昇した。いちよし経済研究所企業調査部主席研究員の山崎清一は「収益の改善が目立つ国内BIVを機関投資家が無視できなくなってきた」と指摘する。

「からない」というイメージは次第に崩れつつある。

・プレシジョン・システム
・サイエンス（PSS）社
長の田島秀二は、潮流の変
化を敏感に感じ取る。「向
こう3年が勝負。国の機関

背景には、抗体医薬品やワクチンといった「バイオ医薬」へと開発のリソースを移しつつある製薬大手

提携を加速
PSSは09年6月、PSS本体の研究開発機能を子会社のユニバーサル・バイオ・リサーチ(UBR)に

提携を加速

新技術でアレルゲン解析



「小さなキットに当社の特許が詰まっている」とマグトレーション・テクノロジーについて熱く語る田島社長

技術結び、バイオ产业化に道

「僕は研究者でもないし、非常に深い技術を持つている技術者でもない」と言つ田島。だが、将来必要ななりそつた技術を見抜く目は確かだ。「いろいろな要素技術を理解し、システム

医療への可能性

に、今後の主力製品に育てる。
医療への可能性
「僕は研究者でもないし、非常に深い技術を持つている技術者でもない」と言つ田島。だが将来必要となりそうな技術を見抜く目は確かだ。「いろいろ要素技術を理解し、システム

グトレーニング・テクノロジー」と「リアルタイムPCR」を組み合わせた「e-LEAD」とともに、今後の主力製品に育てる。

同社の新技術「BIST」を使ってい
る。BISTはデオキシリボ核酸(DNA)
やアレルゲン、たんぱくなどを特殊ビーズに固定
化してチップ内に封入し、発光強度を検出して同時に
多項目の物質解析を行うもの。簡単な作業で迅速に結果を得られるとい
う。「マ

「を通じて結びつける。そこには自分の才能があると思つてゐる」とも語る。遺伝子や免疫を使った臨床検査診断は、今後あらゆる

の症状や体質に合わせない「テーラーメード医療」へ。その可能性を考えると「收拾がつかないくらい面白い」といふ。そんな田島の無垢な情熱が、多くの技術者や研究者を引きつけ、結びつける。「アイデアが出過ぎて社員が困るほど」と屈託なく笑う田島の目には、すでにバイオ産業の10年後、20年後の未来が映っているのかもしれない。(敬称略)

(この項おわり。千葉・斎藤正人が担当しました)

無断転載・複写禁止©(株)日刊工業新聞社